

「第1回 旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキング」 が開催されました

これまでに、鳴門地区生息環境づくりワーキングで、旧吉野川津慈地区の湿地が担う役割や、基本的な構造条件を整理しました。また、利用者を想定した場合の利便施設の抽出を行ってきました。

そこで、旧吉野川津慈地区の湿地の管理運営のあり方を検討するために、徳島県コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会の規約第7条に基づき「旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキング」を設置し、旧吉野川津慈地区河川整備事業地における民間活力の導入に係るサウンディング調査を実施し、事業地の管理運営のあり方を定めるため、ワーキングを開催しました。



- 1.開催日時：令和5年6月6日（火）14：00～16：00
- 2.参加者：学識者、鳴門市、藍住町
- 3.開催場所：徳島河川国道事務所 2階 第一会議室（Web会議）
- 4.内 容：（1）旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキングについて
（2）旧吉野川津慈地区河川整備事業地における民間活力の導入に係るサウンディング調査について
（3）サウンディング調査への参加申込の周知方法（案）について



■第1回旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキングの主な内容■

旧吉野川の津慈地区は、コウノトリ営巣地の近傍にあり、河川整備にあたって湿地を整備する予定であり、整備後の湿地は河川環境の向上の効果に加え、水辺での自然体験等の活用も期待できることから、本サウンディング調査において、民間事業者から広く意見や提案を聴取し、官民連携による湿地の利活用及び管理・運営に向け、そのあり方を検討することを目的として実施されました。

今回のワーキングで挙げた意見を反映し、サウンディング調査の開始に向け、取り組みを進めて参ります。



意見交換の様子